

グローバル環境システムリーダーコース(GESL) (2023 年度入学者)

【サティフィケート名称】

「グローバル環境システムリーダー(Global Environmental System Leaders)」

【サティフィケート修得要件】

2023 年 4 月以降からのコース履修者（修士・博士課程学生）のうち、GESL サティフィケートの取得を希望する学生は、サティフィケート取得を目指しはじめた学期に、政策・メディア研究科（SFC）または理工学研究科（矢上）の担当教員にコース履修の希望を申し出てください。

<GESL 担当教員>

政策・メディア研究科： 藁谷郁美 ikumi(at)sfc.keio.ac.jp

理工学研究科： 泰岡 顕治 yasuoka(at)mech.keio.ac.jp

下記の 1, 2, 3, 4, 5 と、後期博士課程の修了要件を満たし、「GESL ワークショップ」における口頭発表と最終合否判定に合格すると、本コースで修得した専門性「グローバル環境システムリーダープログラム」が付記された学位記とともに、メジャー(主専攻分野)およびマイナー(副専攻分野)の学問分野を修得したことを示す GESL サティフィケートが授与されます。

1. 「GESL 1 (メジャー科目)」として、所定の科目群から 1~2 科目を履修し、合計 4 単位以上取得すること。
2. 「GESL 2 (マイナー科目)」として、所定の他研究科の科目群から 1 科目を（自由科目として）履修し、合計 2 単位以上取得すること。
3. 「国際トレーニング科目」として、所定のフィールドワーク/インターンシップ（合計 8 単位）を実施すること。
4. 国際会議（プログラム委員会が組織され、英語で発表が行われるシンポジウム・カンファレンスなど）で 2 回以上の英語による発表を行うこと。
5. 英語能力条件を充足すること。

1. 「GESL 1 (メジャー科目)」

「GESL 1 (メジャー科目)」として、以下の科目群から 1-2 科目を履修し、合計 4 単位以上取得すること。年 1 回開催される GESL ワークショップにおける口頭発表と最終合否判定の際に、GESL 1 (メジャー科目) として単位取得済みの報告を行うこと。

1) GESL 特設科目

- 環境情報システム構築法（2 単位）
- 環境科学技術・政策特論（2 単位）
- グローバル環境政策特論（2 単位）
- 大規模環境システム構築法（2 単位）

2) 政策・メディア研究科設置科目（政策・メディア研究科学生対象）：

2) 政策・メディア研究科設置科目（理工学研究科学生対象）：

GESL 1（メジャー科目）の候補として挙げられている政策・メディア研究科設置科目

3. 国際トレーニング科目

「国際トレーニング科目」として、フィールドワーク／インターンシップ（合計8単位）を実施し、GESLワークショップにおいて口頭発表を行い、審査に合格すること。国際トレーニング科目として申請できる科目は以下のとおり。

- 先端フィールドワークA・B・C・D(それぞれ、8単位、4単位、4単位、6単位):修士・博士
- フィールドワークA・B(各2単位):修士 インターンシップA・B(各2単位):修士
- グローバル・パートナーズ・ネットワーキング(GRプログラムサティフィケート修得修了要件科目)
- グローバル・イシュー・プラクティス(GRプログラムサティフィケート修得修了要件科目)

4. 国際会議発表

国際会議（プログラム委員会が組織され、英語で発表が行われるシンポジウム・カンファレンスなど）で2回以上の英語による発表を行うこと。

5. 英語要件

次の英語能力条件を充足すること。Computer Based TOEFL 213 点以上（Paper Based TOEFL で受験した場合は 550 点以上）、（Internet Based TOEFL で受験した場合は 79-80 点以上）、または、TOEIC 730 点以上、TOEIC L&R-IP テスト（学内テスト）730 点以上、IELTs バンドスコア 6 以上、または、実用英語技能検定準 1 級以上の英語能力を有すること。（それに順ずる英語能力試験については、GESL 担当教員へ問い合わせること）。ただし、英語圏の大学を卒業し、学士の学位を授与された者、もしくは、これに準ずる者は、本要件を免除される。

<GESL 担当教員>

政策・メディア研究科： 藁谷郁美 email: ikumi(at)sfc.keio.ac.jp

理工学研究科： 泰岡 颯治 yasuoka(at)mech.keio.ac.jp